

# 寒小菊の生産拡大と販路開拓支援

甲賀農業農村振興事務所農産普及課

## 【普及活動のねらい・対象】

管内には切り花の生産者で組織される「JA こうか花卉部会」（部会員 24 名、集落営農法人 2 法人を含む）があり、部会員が生産した小菊は切り花を組んでセロハンで包装した「パック花」として JA の農産物直売所や県内の卸売業者へ出荷されています。

農産物直売所における花きの出荷・販売状況を調査した結果、年末の需要期に小菊が品薄でさらに需要があることが明らかになりました。

そこで、当課では、年末出荷向けの「寒小菊」の生産拡大に向けて、新たな栽培者の掘り起こしと技術指導、今後の生産拡大を見据えた新たな販路の開拓に取り組みました。

## 【普及活動の内容】

### ①新規栽培者の勧誘

水稻の育苗ハウスを装備する集落営農法人に部会への参加を呼びかけ、新規栽培者には部会栽培者との情報交換の場を設定するなど安心して栽培できる環境を整えました。

### ②栽培管理指導

生育初期を盛夏のハウス内で過ごすため、換気の励行、病虫害防除の徹底などについて、集合研修や現地巡回指導、栽培情報の発信により適期作業を指導しました。

### ③販路開拓活動

JA と取引のある花き卸売業者に商品提案を行い、取引の実現に向け支援しました。



写真 花卉部会長と情報交換する新規栽培者

## 【普及活動の成果】

既存の栽培者に加え、新規栽培者の技術指導を徹底したことから、今年度の栽培者は昨年の 9 戸から 11 戸に、作付面積は 11a から 17a に増加しました。

また、適期に現地巡回による個別指導を行ったことで商品化率も高くなり、切り花本数で 52,000 本余りが出荷され、昨年実績の 27,000 本から約 2 倍近くに増加しました。

さらに、販路を開拓したことで、管内の農産物直売所のみならず、花き卸売業者にも出荷されるようになりました。

寒小菊はまだまだ需要が見込めることから、今後も生産の定着と拡大に向け支援を続けていきます。

### ◎対象者の意見

研修会や現地巡回において、普及指導員から生育の状況に応じた適切な栽培指導をいただけたことが心強かった。さらなる拡大に向け引き続き支援願いたい。

（Y氏/JA こうか花卉部会長）